



## 2024年2月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2024年1月9日

上場会社名 株式会社 タカキュー  
コード番号 8166 URL <https://online.taka-q.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長  
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長  
四半期報告書提出予定日 2024年1月9日

上場取引所 東

(氏名) 大森 尚昭  
(氏名) 林 宏夫

TEL 03-5248-4100

配当支払開始予定日  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年2月期第3四半期の業績(2023年3月1日～2023年11月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

|               | 売上高   |      | 営業利益 |   | 経常利益 |   | 四半期純利益 |   |
|---------------|-------|------|------|---|------|---|--------|---|
|               | 百万円   | %    | 百万円  | % | 百万円  | % | 百万円    | % |
| 2024年2月期第3四半期 | 7,475 | 15.1 | 7    |   | 83   |   | 28     |   |
| 2023年2月期第3四半期 | 8,803 |      | 691  |   | 619  |   | 676    |   |

|               | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後<br>1株当たり四半期純利益 |
|---------------|-------------|------------------------|
|               | 円 銭         | 円 銭                    |
| 2024年2月期第3四半期 | 1.15        |                        |
| 2023年2月期第3四半期 | 27.75       |                        |

(注)「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を前第1四半期会計期間の期首から適用しており、2023年2月期第3四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっており、対前年同四半期増減率は記載しておりません。

#### (2) 財政状態

|               | 総資産   |     | 純資産   |     | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|---------------|-------|-----|-------|-----|--------|----------|
|               | 百万円   | 円 銭 | 百万円   | 円 銭 | %      | 円 銭      |
| 2024年2月期第3四半期 | 5,779 |     | 1,845 |     | 31.9   | 75.73    |
| 2023年2月期      | 6,406 |     | 1,933 |     | 30.2   | 79.37    |

(参考)自己資本 2024年2月期第3四半期 1,845百万円 2023年2月期 1,933百万円

### 2. 配当の状況

|              | 年間配当金  |        |        |      |      |
|--------------|--------|--------|--------|------|------|
|              | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末   | 合計   |
|              | 円 銭    | 円 銭    | 円 銭    | 円 銭  | 円 銭  |
| 2023年2月期     |        | 0.00   |        | 0.00 | 0.00 |
| 2024年2月期     |        | 0.00   |        |      |      |
| 2024年2月期(予想) |        |        |        | 0.00 | 0.00 |

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年2月期の業績予想(2023年3月1日～2024年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

|    | 売上高    |      | 営業利益 |   | 経常利益 |   | 当期純利益 |   | 1株当たり<br>当期純利益 |
|----|--------|------|------|---|------|---|-------|---|----------------|
|    | 百万円    | %    | 百万円  | % | 百万円  | % | 百万円   | % | 円 銭            |
| 通期 | 10,000 | 16.4 | 40   |   | 130  |   | 40    |   | 1.64           |

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

|                   |            |              |            |              |
|-------------------|------------|--------------|------------|--------------|
| 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 2024年2月期3Q | 24,470,822 株 | 2023年2月期   | 24,470,822 株 |
| 期末自己株式数           | 2024年2月期3Q | 105,695 株    | 2023年2月期   | 105,695 株    |
| 期中平均株式数(四半期累計)    | 2024年2月期3Q | 24,365,127 株 | 2023年2月期3Q | 24,365,243 株 |

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

|                                |   |
|--------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....       | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 .....           | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 .....           | 3 |
| (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....  | 3 |
| 2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....         | 4 |
| (1) 四半期貸借対照表 .....             | 4 |
| (2) 四半期損益計算書 .....             | 6 |
| 第3四半期累計期間 .....                | 6 |
| (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....      | 7 |
| (継続企業の前提に関する注記) .....          | 7 |
| 3. その他 .....                   | 8 |
| (1) 継続企業の前提に関する重要事象等について ..... | 8 |
| (2) 商品別売上高 .....               | 8 |

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、各種行動制限の緩和と外出需要の高まりによって、社会経済活動の正常化が進んだものの、2022年2月以来の不安定な国際情勢の長期化や原材料価格・エネルギーコストの高騰、円安基調の継続による物価上昇などの影響により、景気の先行きは不透明な状態が継続しています。

当アパレル・ファッション業界におきましては、各種イベントの再開や旅行者数の増加等、外出需要の高まりにより、購入動機が回復しつつある一方、国内外の物価上昇が長期化していることに加え、9月から10月にかけて記録的な残暑が続き秋冬物の需要が高まらず、経営環境は引き続き厳しい状況で推移しました。

このような中、当社は、2024年2月期を商売の再建による黒字化達成と上場維持に向けた1年と位置づけ、2020年2月期より推進しております事業構造改革の総仕上げにより、強固な黒字体質への変革の実現に向けて取り組んでおります。

営業面では、店舗における販売体制のレベルアップに向けて、オーダースーツの販売実績から個人別の販売スキルに応じた動画プログラムを設定する等、スタッフ教育に注力しました。

販促面では、POP、ポスター、パンフレット等のアナログ販促と、ランディングページ、バナー、動画広告等のデジタル販促を一体化する等、販促方法を刷新しました。更に、広告にAIモデルを活用することで柔軟な訴求を行うと共に、効果測定の徹底により高い成果を得る取り組みを実施しました。

Eコマースでは、決済手段の拡大と共に、シーズン毎のカテゴリー別人気商品の掲載を前面に打ち出す等、利便性と視認性の向上を図りました。また、今秋より本格投入がスタートしたブランド「SUITIST」について、YouTubeとInstagramで動画広告を実施しました。

商品面では、新常态で加速したオフィスカジュアル化等、消費者ニーズの変化に対応した品揃えの充実を図りました。日常生活やビジネスシーンを快適にする高機能商品「Happy Function」はカジュアル関連商品の売上の半分を占めるカテゴリーに成長し、特にカジュアルパンツが好調に推移しました。

ビジネス関連商品は、起毛素材等で展開したスーツが残暑等の影響により苦戦し、既存店前年同期比で14.0%減となりました。

仕入面では、シーズン別の仕入・納品管理と在庫管理を徹底した結果、11月末の在庫水準は既存店前年同期比で63.4%となりました。

しかしながら、新規秋冬商品を早期に立ち上げ鮮度のある売場を展開したものの、想定外の残暑の影響で9月・10月は秋物の動きが悪く、11月に入り防寒商品の需要が高まりましたが、当第3四半期累計期間の既存店売上高前年同期比は2.8%減となりました。

店舗面では、タカキューを1店舗出店した一方で6店舗退店、セマンティック・デザインを1店舗退店した結果、当第3四半期会計期間末では前年同期末比31店舗減の124店舗となりました。

以上により、当第3四半期累計期間の売上高は74億7千5百万円（前年同期比15.1%減）となりました。利益面では、コストコントロールの徹底及び店舗数の減少により、販売費及び一般管理費が前年同期に対して23.7%減少し、営業利益は7百万円（前年同期は営業損失6億9千1百万円）、経常利益は8千3百万円（同経常損失6億1千9百万円）、四半期純利益は2千8百万円（同四半期純損失6億7千6百万円）となりました。

なお、当社は衣料品販売の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

資産の部は、前事業年度末に対して6億2千7百万円減少し、57億7千9百万円となりました。主な要因は、流動資産で売掛金が1億2千5百万円、投資その他の資産で関係会社株式が9千2百万円それぞれ増加し、流動資産で現金及び預金が5億2千1百万円、商品が3千5百万円、固定資産で有形固定資産が3千6百万円、無形固定資産が5千8百万円、投資その他の資産で敷金が2億2百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

負債の部は、前事業年度末に対して7億1千6百万円減少し、76億2千4百万円となりました。主な要因は、流動負債で支払手形及び買掛金・電子記録債務が1億7千1百万円、短期借入金が3千4百万円、固定負債で繰延税金負債が3千万円それぞれ増加し、流動負債で未払金が3億3千3百万円、未払法人税等が3千5百万円、事業構造改革引当金が1億6千3百万円、資産除去債務が7千3百万円、その他に含まれる未払消費税等が2億1百万円、固定負債で長期借入金が6千6百万円、リース債務が3千6百万円、資産除去債務が3千6百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

純資産の部は、前事業年度末に対して8千8百万円増加し、△18億4千5百万円となりました。主な要因は、株主資本で利益剰余金が2千8百万円、評価・換算差額等でその他有価証券評価差額金が6千万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年2月期の通期の業績予想については、2023年4月12日の「2023年2月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」で公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

|             | 前事業年度<br>(2023年2月28日) | 当第3四半期会計期間<br>(2023年11月30日) |
|-------------|-----------------------|-----------------------------|
| <b>資産の部</b> |                       |                             |
| 流動資産        |                       |                             |
| 現金及び預金      | 1,488,964             | 967,452                     |
| 売掛金         | 696,387               | 821,626                     |
| 商品          | 1,428,949             | 1,393,172                   |
| 貯蔵品         | 114,271               | 159,497                     |
| その他         | 187,067               | 153,259                     |
| 流動資産合計      | 3,915,640             | 3,495,007                   |
| 固定資産        |                       |                             |
| 有形固定資産      |                       |                             |
| 建物（純額）      | 186,191               | 163,618                     |
| 機械及び装置（純額）  | 4,116                 | 3,629                       |
| 器具及び備品（純額）  | 34,316                | 29,466                      |
| リース資産（純額）   | 6,898                 | 4,312                       |
| その他（純額）     | 6,668                 | 300                         |
| 有形固定資産合計    | 238,192               | 201,325                     |
| 無形固定資産      | 340,259               | 281,915                     |
| 投資その他の資産    |                       |                             |
| 関係会社株式      | 451,866               | 544,551                     |
| 差入保証金       | 36,404                | 36,404                      |
| 敷金          | 1,417,378             | 1,214,710                   |
| その他         | 7,028                 | 5,539                       |
| 投資その他の資産合計  | 1,912,677             | 1,801,205                   |
| 固定資産合計      | 2,491,129             | 2,284,447                   |
| 資産合計        | 6,406,769             | 5,779,455                   |

(単位：千円)

|              | 前事業年度<br>(2023年2月28日) | 当第3四半期会計期間<br>(2023年11月30日) |
|--------------|-----------------------|-----------------------------|
| <b>負債の部</b>  |                       |                             |
| 流動負債         |                       |                             |
| 支払手形及び買掛金    | 330,397               | 302,585                     |
| 電子記録債務       | 1,333,700             | 1,533,414                   |
| 短期借入金        | 2,946,650             | 2,981,150                   |
| 未払金          | 686,871               | 353,621                     |
| 未払法人税等       | 90,859                | 55,573                      |
| リース債務        | 47,887                | 48,511                      |
| 資産除去債務       | 99,547                | 26,098                      |
| ポイント引当金      | 94,296                | 97,059                      |
| 事業構造改革引当金    | 163,184               | —                           |
| その他          | 429,023               | 217,825                     |
| 流動負債合計       | 6,222,419             | 5,615,839                   |
| 固定負債         |                       |                             |
| 長期借入金        | 1,080,200             | 1,013,750                   |
| リース債務        | 40,527                | 4,064                       |
| 資産除去債務       | 745,372               | 708,797                     |
| 繰延税金負債       | 131,474               | 161,486                     |
| 関係会社事業損失引当金  | 21,374                | 21,374                      |
| その他          | 99,324                | 99,324                      |
| 固定負債合計       | 2,118,273             | 2,008,797                   |
| 負債合計         | 8,340,693             | 7,624,636                   |
| <b>純資産の部</b> |                       |                             |
| 株主資本         |                       |                             |
| 資本金          | 100,000               | 100,000                     |
| 資本剰余金        | 2,468,485             | 2,468,485                   |
| 利益剰余金        | △4,679,559            | △4,651,442                  |
| 自己株式         | △26,505               | △26,505                     |
| 株主資本合計       | △2,137,579            | △2,109,463                  |
| 評価・換算差額等     |                       |                             |
| その他有価証券評価差額金 | 203,655               | 264,281                     |
| 評価・換算差額等合計   | 203,655               | 264,281                     |
| 純資産合計        | △1,933,923            | △1,845,181                  |
| 負債純資産合計      | 6,406,769             | 5,779,455                   |

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

|                         | 前第3四半期累計期間<br>(自 2022年3月1日<br>至 2022年11月30日) | 当第3四半期累計期間<br>(自 2023年3月1日<br>至 2023年11月30日) |
|-------------------------|--|--|
| 売上高                     | 8,803,168                                    | 7,475,436                                    |
| 売上原価                    | 3,427,085                                    | 2,838,561                                    |
| 売上総利益                   | 5,376,082                                    | 4,636,875                                    |
| 販売費及び一般管理費              | 6,067,625                                    | 4,629,321                                    |
| 営業利益又は営業損失(△)           | △691,542                                     | 7,553  |
| 営業外収益                   |  |  |
| 不動産賃貸料                  | 221,568                                      | 211,583                                      |
| 手数料収入                   | 73,445                                       | 69,226                                       |
| その他                     | 24,070                                       | 25,390                                       |
| 営業外収益合計                 | 319,083                                      | 306,200                                      |
| 営業外費用                   |  |  |
| 支払利息                    | 63,034                                       | 60,945                                       |
| 不動産賃貸費用                 | 145,143                                      | 145,254                                      |
| その他                     | 38,938                                       | 24,144                                       |
| 営業外費用合計                 | 247,116                                      | 230,344                                      |
| 経常利益又は経常損失(△)           | △619,575                                     | 83,409                                       |
| 特別損失                    |  |  |
| 減損損失                    | 3,628  | 1,768  |
| 特別損失合計                  | 3,628  | 1,768  |
| 税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△) | △623,203                                     | 81,640                                       |
| 法人税、住民税及び事業税            | 63,435                                       | 55,573                                       |
| 法人税等調整額                 | △10,614                                      | △2,048                                       |
| 法人税等合計                  | 52,821                                       | 53,524                                       |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△)       | △676,025                                     | 28,116                                       |



(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当社は、前事業年度において、営業損失785,167千円、当期純損失1,050,386千円、同事業年度末にて純資産△1,933,923千円となり、当第3四半期累計期間においては営業利益7,553千円、四半期純利益28,116千円と収益力の回復の兆しが見えましたが、同会計期間末においても1,845,181千円の債務超過となっていることから、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

当社は、継続企業の前提にかかる重要な疑義を解消するための対応策として、事業構造改革の諸施策の実施により、事業面及び財務面での安定化を図り、持続的な収支の改善を図るとともに、経営安定化を目的とした様々な資本増強に向けた各種施策を検討・推進し、想定を上回る急激な円安、原材料価格・エネルギーコストの高騰等の環境変化を踏まえた収益改善計画を含め検討を進め、当該状況の解消・改善に努めております。

上記の取り組みとともに、今後の資金繰りに支障が生じないよう取引金融機関と継続的かつ緊密な連携・協議を行なうことにより、総額1,350,000千円の当座貸越契約締結に加えて、1,150,000千円のシンジケーション形式によるコミットメントライン契約を締結しているほか、長期借入金1,121,900千円、短期借入金373,000千円の借入れを行っており、引き続き十分な運転資金を確保できるものと判断しております。

しかしながら、債務超過の状態が2022年2月期末から継続しており、資本増強に向けた諸施策等の対応は着実に進行しているものの、一段の円安進行への対応等が加わる中、具体的な債務超過解消に至る過程につき現時点において決定している状況にないことから、継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められると判断しております。

なお、四半期財務諸表は継続企業を前提として作成されており、継続企業の前提に関する重要な不確実性の影響を四半期財務諸表へ反映しておりません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

### 3. その他

#### (1) 継続企業の前提に関する重要事象等について

当社は、前事業年度において、営業損失785,167千円、当期純損失1,050,386千円、同事業年度末にて純資産△1,933,923千円となり、当第3四半期累計期間においては営業利益7,553千円、四半期純利益28,116千円と収益力の回復の兆しが見えましたが、同会計期間末においても1,845,181千円の債務超過となっていることから、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

当社は、継続企業の前提にかかる重要な疑義を解消するための対応策として、事業構造改革の諸施策の実施により、事業面及び財務面での安定化を図り、持続的な収支の改善を図るとともに、経営安定化を目的とした様々な資本増強に向けた各種施策を検討・推進し、想定を上回る急激な円安、原材料価格・エネルギーコストの高騰等の環境変化を踏まえた収益改善計画を含め検討を進め、当該状況の解消・改善に努めております。

上記の取り組みとともに、今後の資金繰りに支障が生じないよう取引金融機関と継続的かつ緊密な連携・協議を行なうことにより、総額1,350,000千円の当座貸越契約締結に加えて、1,150,000千円のシンジケーション形式によるコミットメントライン契約を締結しているほか、長期借入金1,121,900千円、短期借入金373,000千円の借入れを行なっており、引き続き十分な運転資金を確保できるものと判断しております。

しかしながら、債務超過の状態が2022年2月期末から継続しており、資本増強に向けた諸施策等の対応は着実に進行しているものの、一段の円安進行への対応等が加わる中、具体的な債務超過解消に至る過程につき現時点において決定している状況にないことから、継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められると判断しております。

#### (2) 商品別売上高

|        | 前第3四半期累計期間<br>(自 2022年3月1日<br>至 2022年11月30日) |         | 当第3四半期累計期間<br>(自 2023年3月1日<br>至 2023年11月30日) |         | 前事業年度<br>(自 2022年3月1日<br>至 2023年2月28日) |         |
|--------|--|---------|--|---------|--|---------|
|        | 金額 (千円)                                      | 構成比 (%) | 金額 (千円)                                      | 構成比 (%) | 金額 (千円)                                | 構成比 (%) |
| 重衣料    | 3,790,883                                    | 43.1    | 3,266,975                                    | 43.7    | 5,170,399                              | 43.2    |
| 中衣料    | 310,451                                      | 3.5     | 222,638                                      | 3.0     | 684,591                                | 5.7     |
| 軽衣料    | 4,387,253                                    | 49.8    | 3,739,543                                    | 50.0    | 5,650,194                              | 47.2    |
| その他衣料等 | 314,580                                      | 3.6     | 246,279                                      | 3.3     | 470,696                                | 3.9     |
| 合計     | 8,803,168                                    | 100.0   | 7,475,436                                    | 100.0   | 11,975,883                             | 100.0   |

(注) 1. その他衣料等はスカート、ワンピースのほか、クレジットカード会員獲得に伴う手数料収入、衣料品の修理・加工に伴う収入等であります。

2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。